全国学力・学習状況調査　　蒲郡市の児童生徒の状況

１　調査実施日　　令和８年４月２３日（木）＜調査基準日＞

２　教科の状況（全国の平均正答率と比較して）

☆小学校６年生の状況

教科	分　　析
国語	**下回っている** ・全体的な平均の差は，昨年度より広がり，多くの区分で，全国平均を下回った。 ・思考・判断・表現に関わる「読むこと」の区分の，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめることができるか判断する問題では，全国平均を上回った。 ・知識・技能に関わる，学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるか判断する問題では，全国平均を大きく下回った。 ・思考・判断・表現に関わる「話すこと・聞くこと」の，話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるか判断する問題では，全国平均を下回った。 ☆漢字を文脈に応じて正しく使う力の定着を図るため，日常的な書く活動や語彙指導の充実に取り組む必要がある。話の中心を意識して内容を整理したり構成を考えたりする学習活動を積極的に取り入れ，目的や意図に応じて話す力・聞く力の向上を図ることが求められる。一方で，「読むこと」の問題では全国平均を上回る結果が見られたことから，文章を根拠として自分の考えをまとめる学習を継続し，児童が主体的に考えを表現する力をさらに伸ばしていくことが重要である。
算数	**下回っている** ・全体的な平均の差は，昨年度より縮まったものの，すべての区分で，全国平均を下回った。 ・知識・技能に関わる「変化と関係」の区分の，百分率で表された割合と比較量から，基準量を求めることができるか判断する問題では，全国平均を上回った。 ・知識・技能に関わる「図形」の区分の，体積の意味について理解しているか判断する問題では，全国平均を大きく下回った。 ・知識・技能に関わる「数と計算」の区分の，単位分数の個数に着目し，数直線上の１を表す目盛りを捉えることができるか判断する問題では，全国平均を大きく下回った。 ☆割合については全国平均を上回る結果が見られ，数量の関係を捉える力が身に付いてきていることがうかがえる。今後も，式や図，数直線などを用いて考えを表現し，その根拠を説明したり交流したりする活動を大切にしながら，知識や技能を単なる計算方法として覚えるだけでなく，その意味や仕組みを理解できる授業づくりを進めていきたい。一方で，体積の意味の理解や，単位分数の個数に着目して数直線上の数を捉えることに課題が見られた。自分の考えを説明したり友達の考えと比較したりする学習活動を通して，数量や図形についての理解を深め，知識・技能の確実な定着と活用する力の向上を図っていくことが必要である。

☆中学校３年生の状況

教科	分　　析
国語	**やや上回っている** ・全体的な平均は，全国平均をやや上回り，昨年度から改善が見られた。 ・思考・判断・表現に関わる「話すこと・聞くこと」の区分の，必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるか判断する問題では，全国平均を下回った。 ・思考・判断・表現に関わる「読むこと」の区分の，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにすることができるか判断する問題では，全国平均を下回った。 ☆必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることや，文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを深めることに課題が見られた。話し合いや発表の場面では，目的や内容に応じて質問したり確認したりする活動を計画的に取り入れ，聞く力の向上を図る。また，読む活動では，文章から読み取った内容と自分の考えを関連付けて記述する機会を増やし，根拠を明確にして考えをまとめる力を育成していくことが必要である。
数学	**上回っている** ▪全体的な平均は，半分以上の区分において，全国平均を上回った。 ・知識・技能に関わる「データの活用」の区分の問題では，全国平均を大きく上回った。 ・思考・判断・表現に関わる「図形」の区分の，筋道を立てて考え，証明することができるか判断する問題では，全国平均を大きく下回った。 ☆基礎的・基本的な知識及び技能の定着が着実に進んでいることがうかがえる。特に，「データの活用」の領域では，資料を読み取り，必要な情報を整理する力が身に付いていると考えられる。一方で，図形に関する問題では全国平均を下回っており，論理的な根拠を明確にしながら筋道を立てて説明する力に課題が見られる。数学的に理由を説明するには，対象を明確にし，根拠を適切に示すことが重要である。そのため，理由や根拠を言葉や式で表現する学習活動の充実を図る必要がある。
英語	**やや下回っている** ・全体的な平均 IRT スコアは，全国平均をやや下回った。 ・思考・判断・表現に関わる「聞くこと」の区分の，日常的な話題について，話を聞き，概要を捉えることができるか判断する問題では，全国平均を大きく上回った。 ・思考・判断・表現に関わる「書くこと」「話すこと」の区分の，日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，まとまりのある文章を書いたり，話したりすることができるか判断する問題では，全国平均を下回った。 ☆聞き取る力に比べ，自分の考えや気持ちなどを整理し，文章で書いたり伝えたりする力に課題が見られる。これまでのリスニングを中心とした学習成果を生かしながら，「書くこと」「話すこと」の表現活動の充実を図る必要がある。そのために，自分の考えや理由を付けて伝えたり書いたりする機会を授業の中で意図的・計画的に設定することが重要である。また，複数の文をつないで文章を構成するライティング活動や，即興的なスピーキング活動を継続的に取り入れることで，思考力・判断力・表現力の向上を図っていく必要がある。

３　学習・生活習慣等の状況
全国と比較して割合の高いものと低いものについて代表的なものを紹介します。

○小学校６年生の状況
＜全国と比較して上回っているもの＞
（１）算数の勉強が好き・得意だと思っている子が多い。
（２）自分には，よいところがあると思っている子が多い。
（３）人が困っているときは，進んで助ける子が多い。
（４）地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う子が多い。
（５）自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表している子が多い。

＜全国と比較して下回っているもの＞
（１）PC・タブレットなどの ICT 機器で情報を整理したり，プレゼンテーション（発表のスライド）を作成したりすることができると思っている子が少ない。
（２）総合的な学習の時間で，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる子が少ない。
（３）道徳の授業では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる子が少ない。
（４）国語の勉強が好き・得意だと思っている子が少ない。
（５）国語の授業で，文章などを引用して，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている子が少ない。

○中学校３年生の状況
＜全国と比較して上回っているもの＞
（１）先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思っていることが多い。
（２）学校に行くのは楽しい，学級で人と違う意見を言っても否定されないと思っている子が多い。
（３）いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思っている子が多い。
（４）自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表している子が多い。
（５）数学の勉強が好き・得意だと思っている子が多い。

＜全国と比較して下回っているもの＞
（１）毎日，同じくらいの時刻に寝ている子が少ない。
（２）将来の夢や目標をもっている子が少ない。
（３）各教科などで学んだことを生かしながら，自分の考えをまとめる活動を行っている子が少ない。
（４）自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図，表，グラフ，思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思っている子が少ない。
（５）将来，積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思っている子が少ない。

４　調査結果をうけて
蒲郡市教育委員会としては，調査結果をさらに分析し，児童生徒の学力を維持，向上させるための具体的な指導法についてまとめ，各学校に示していきます。各学校もまた，学習状況についても改善に向けた取り組みを考え，実施していきます。

５　留意点
この調査で測定できた力は，学力の一部分です。各家庭では，お子さんの得意な内容，不得意な部分を知り，今後の学習に生かしていけるよう励ましをお願いいたします。